

有田市コミュニティ・スクールだより



有田市の小・中学校はコミュニティ・スクール（学校運営協議会を設置した学校）です。学校運営協議会では、学校と保護者・地域住民(10名以内)がともに知恵を出し合い、学校運営に意見を反映させることで、一緒に子どもたちの豊かな成長を支え、「地域とともにある学校」をめざします。



地域の先輩から学ぶ 地域から学ぶ

9/18 宮原小 ～ようこそ先輩～

10年前の卒業生11人が、後輩のために集まってくれました。

5年生は、多様な人たちとの交流から学ぶ授業を進めています。今回は、大学生や専門学生、社会人に、高学年の思い出、現在の暮らし、夢や目標、地域への思いなどを話してもらいました。子どもたちは憧れをもって聞き、「自分も10年後、先輩たちみたいにこの学校に戻って来たい」という子もいました。



地域の祭りが大好きな大学生と秋祭りで会う約束をしています。(休憩時)



「部員100名のキャプテンってすごい！私もそんなことができる人になりたい」

11/7 保田小 ～みかん収穫体験～

自分たちの地域が「みかんどころ」であることを子どもたちに実感してもらいたいという学校と地域の願いから、摘果や収穫の体験学習を行っています。

毎年3年生の子どもたちのために、貴重な畑の一部を開放してくれる方、みかん収穫期の忙しい中ゲストティーチャーとして来てくれる方など、たくさんの地域の方の協力を得て学習しています。



みかんの採り方や、おいしいみかんの見分け方を教えてもらいました。



採れたてのみかんを「有田むき」で味わって、笑顔になる子どもたち。

11/28 港小 ～全校ポイントラリー～

6年生が考えた名称は「みなとマスターをめざせ！みなとっこワクワドキドキポイントラリー」。異学年グループで地域を回り、制限時間内で港町の魅力に関する問題を解いた数を競います。企画、運営は6年生。自分たちでできない部分は地域の人や保護者に依頼します。主催は、学校・育友会・学校運営協議会。学校・家庭・地域が連携・協力して、子どもたちにふるさと愛をはぐくんでいます。



保護者や地域のみなさんが見守りながら、温かい声かけをしてくれます。



6年生が自作した動画で、学校運営協議会委員に計画や思いを伝えています。